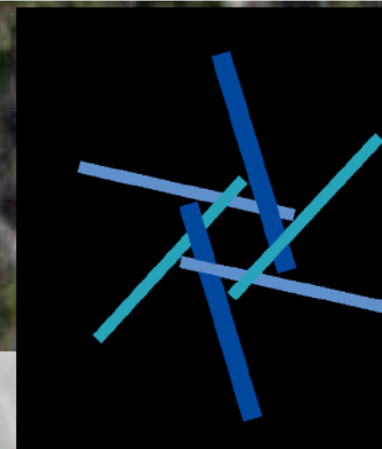




エゾシカの ロードキル防止に向けた ドライバーへの注意喚起の取組



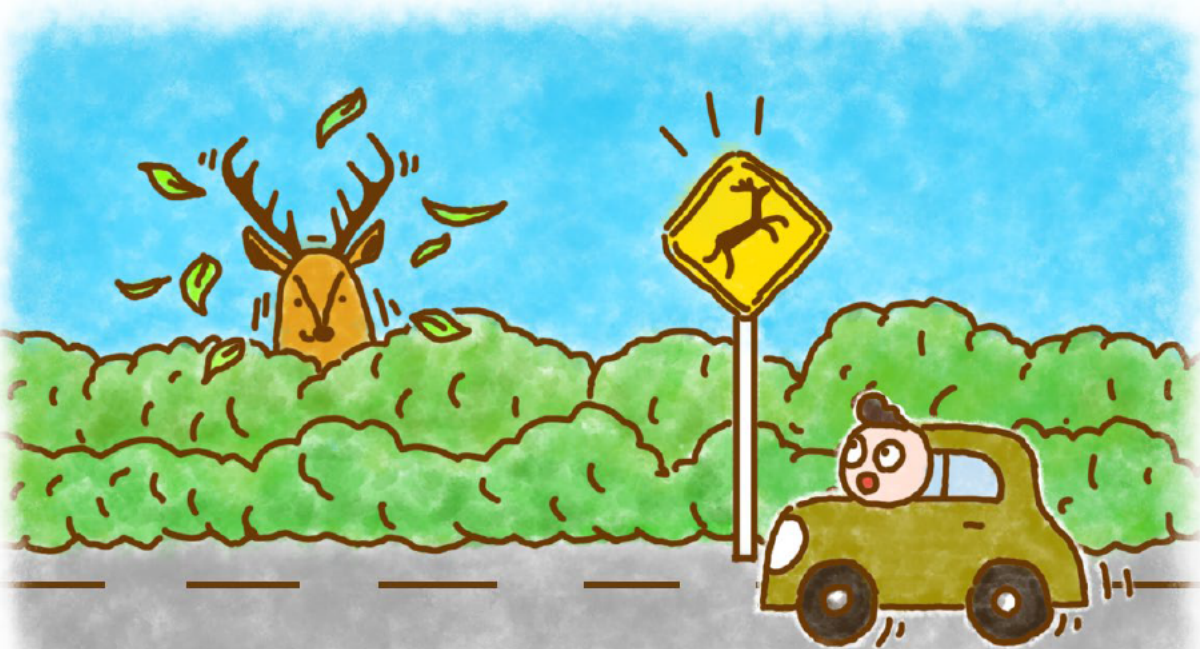
鹿野 たか嶺（一般社団法人 北海道開発技術センター）
佐藤 真人（一般社団法人 北海道開発技術センター）
佐藤 金八（一般社団法人 北海道開発技術センター）
浅利 裕伸（帯広畜産大学）

01 背景と目的

北海道では、エゾシカのロードキル（動物と車両の交通事故）が年々増加傾向にあり、警察発表データによると2024年は5460件と、8年連続で**最多記録**を更新している。

大型動物であるエゾシカとの衝突は、ドライバーや同乗者に重大な被害をもたらす可能性があり、死亡事故につながるケースもある。さらに、精神的な被害や運転への心理的負担といった二次的影響も懸念される。

ロードキル削減に向け、ドライバーを対象とした注意喚起の取組を行った。



シカは突然飛び出す



シカは薄暗い時間帯に活発になる



シカは群れで行動する



シカの蹄は道路で滑る



アライグマ

02 紙面による啓発と動画募集

ドライバーへの注意喚起および意識向上を目的として、北海道内で配布されているドライブ情報誌「Scenic Byway」において1年間啓発記事を掲載した。合わせて、啓発記事内においてドライバーからエゾシカやその他野生動物との衝突、あるいはヒヤリハットに関する動画を広く募集した。



情報誌Scenic Byway



啓発記事

03 収集動画

募集の結果、ドライブレコーダー映像を中心に34件の投稿があり、26件の動画を収集することができた。

収集した映像の動物種はエゾシカが半数以上を占め、その他はキツネ、タンチョウ、ヒグマ、タヌキ、アライグマであった。状況種別としては、「野生動物の道路への出没」が最も多く15件、「ヒヤリハット(衝突回避)」8件および「衝突」3件はすべてエゾシカであった。

エゾシカの動画では、突然茂みから飛び出してくる様子や、車の方向を見ているのに飛び出してくる様子等、危険な状況が確認された。

動物種	状況種別	件数
アライグマ	野生動物の道路への出没動画	1
タヌキ	野生動物とのヒヤリハット(衝突回避)動画	1
ヒグマ	野生動物との衝突動画	1
タンチョウ	野生動物の道路への出没動画	2
キツネ	野生動物とのヒヤリハット(衝突回避)動画	2
エゾシカ	野生動物の道路への出没動画	8
エゾシカ	野生動物とのヒヤリハット(衝突回避)動画	8
エゾシカ	野生動物との衝突動画	3

収集動画の動物種と状況種別

ヒヤリハットも衝突もエゾシカのみ！



エゾシカ



エゾシカ



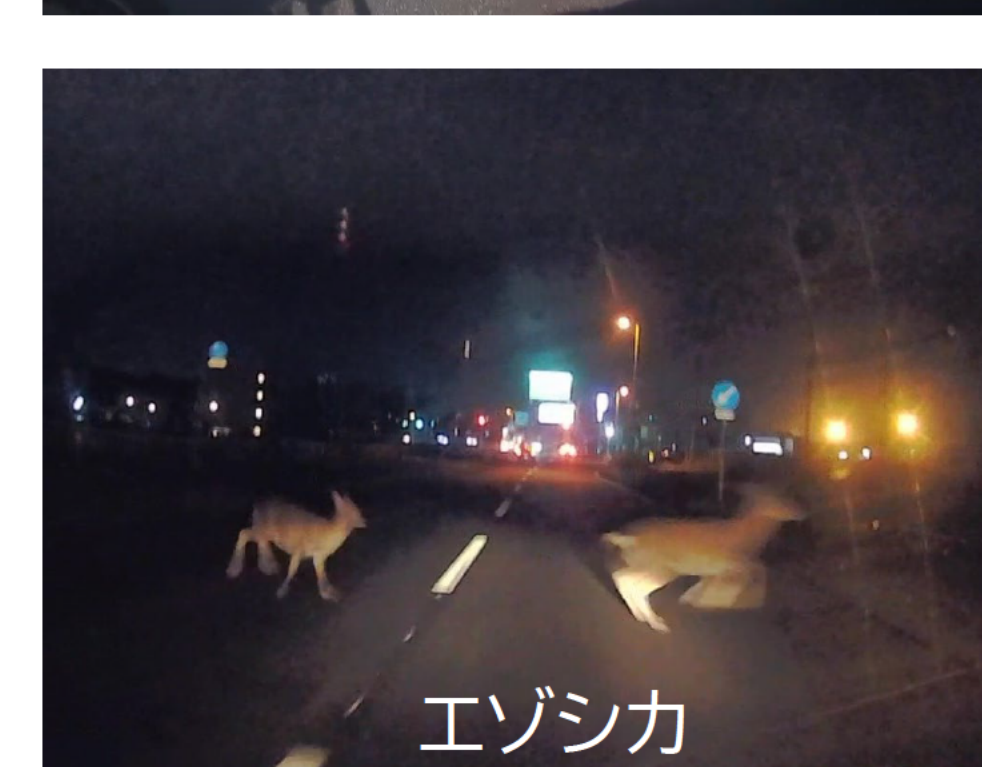
タヌキ



エゾシカ



エゾシカ



エゾシカ



タンチョウ

04 啓発動画の作成

収集した映像をもとに啓発用のショート動画を作成し、「野生生物と交通」ウェブサイトやSNSを通じて発信した。啓発動画には、危険事例だけでなく、エゾシカの特徴についてのイラスト及び簡単な説明を入れ、エゾシカに関する理解促進を図った。

当サイトでは、国道のロードキル発生箇所を1km単位で示す「北海道エゾシカロードキルマップ」も公開している。こちらもロードキル防止に役立つ情報であることから、動画と合わせて周知を実施している。

作成した
啓発動画は
こちら



SCAN HERE!

北海道
エゾシカ
ロードキル
マップ



「野生生物と交通」webサイト
<https://www.wildlife-traffic.jp/>

05 まとめ

今回の動画募集により、数は少ないものの、効率的かつ実践的に野生動物の道路出没映像を収集できることが確認された。今後も継続的な募集を行い、映像資料の充実を図る予定で、次年度は、キャンプ雑誌での募集を行う。

さらに、啓発動画の効果を最大化するためには、SNS等を活用するなど、より多くの人へ届ける情報発信戦略が重要である。

今後の課題は、より効果的な普及手法を検討・実施し、広く周知を図ることである。